

自動車整備工場快適空調システム

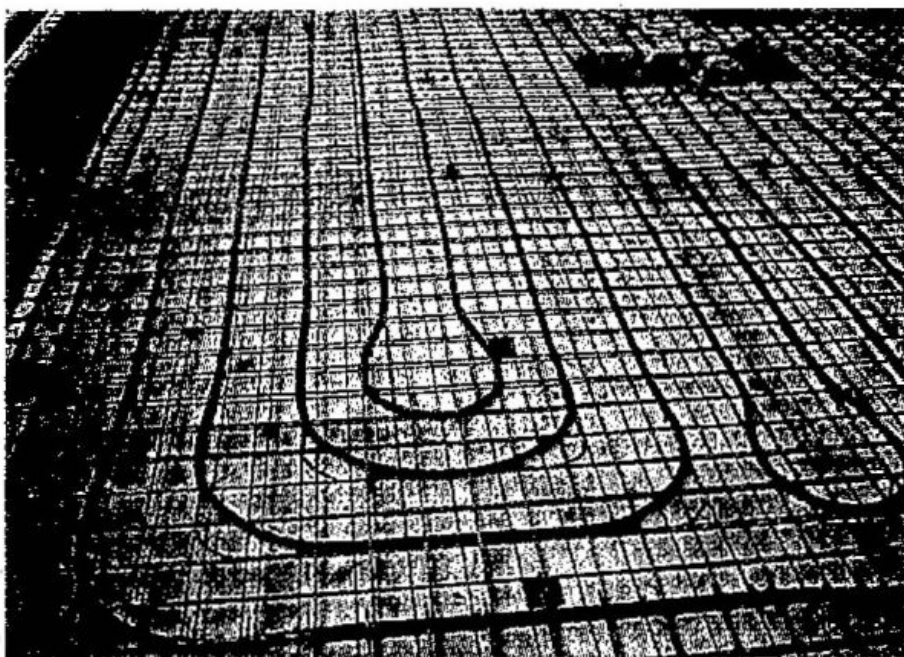
環境に優しい空調システムなどを提供するヤマトの

「自動車整備工場

快適空調システム」は国内で唯一、氷蓄熱技術を用いた床冷暖房をサービスマン工場に設置したことが特徴となる。上部からのスポット冷温風に床冷暖房を加えた空調システムで、天井が高く扉を開放しているケースが多い建物に最適なシステム。導入された富士スバル太田店（群馬県太田市）のサービスマン

ヤマト

場では、冬季は作業開始時の輻射熱のみで工場内の快
間から終業時間まで床から 適な作業環境が持続。省工



ネとともに作業効率が大幅に向上した。

同システムは氷蓄熱タンクと熱源機、熱交換器、スポット送風機、床下に埋め込まれた冷暖房用配管などで構成される。夜間（午後10時～午前8時）の電力で蓄熱タンク内に氷または温

水をつくり、その熱を利用して日中の冷房または暖房を行う。降雪地などの厳冬期には昇温用小型ボイラーを用いて熱不足を補うことも可能となっている。

導入工場内では冬は足元から暖かく、夏は洞穴内のようなひんやり感が漂う。また工場内の騒音低下や粉じんが舞う量の低減などの効果もある。省エネ性能は新車ショールームやサービスマン工場の場合、規模により電気料金が年間50～200万円削減される。例えば床面積約1千平方メートルの太田店サービスマン工場の電気料金は年間90万円程度削減された。

冬暖かく夏ひんやり

省エネに加え 作業効率向上